

IR資料

【2024年3月期 第3四半期決算補足説明資料】

矢作建設工業株式会社 証券コード1870（東証プライム・名証プレミア）

I

2024年3月期第3四半期決算

2024年3月期第3四半期決算ハイライト

■ 売上高

売上高は908億円と前期比177億円の大幅な増収となり、第3四半期として過去最高を更新

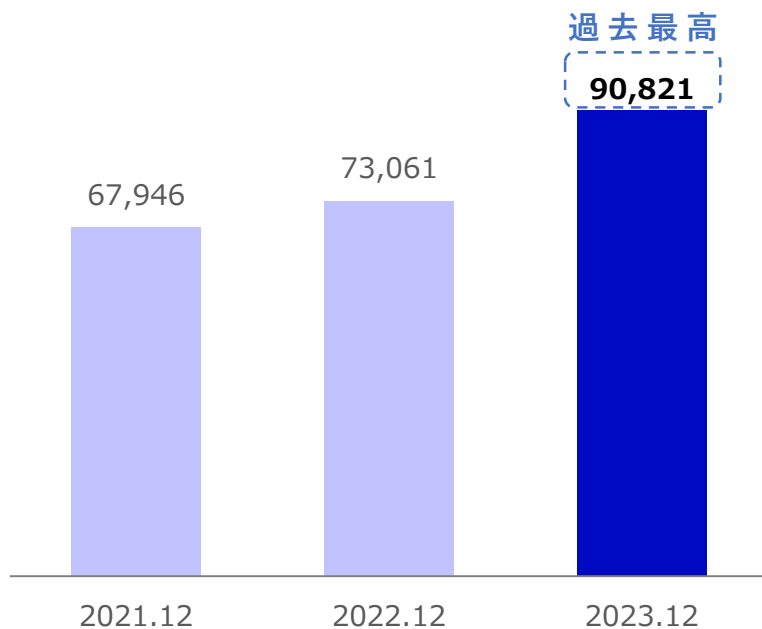
■ 利益

売上総利益の大幅な増益に伴い、営業利益は90億円と前期比56億円の増益、四半期純利益は62億円と前期比39億円の増益となり

いずれも第3四半期として過去最高を更新

売上高 (百万円)

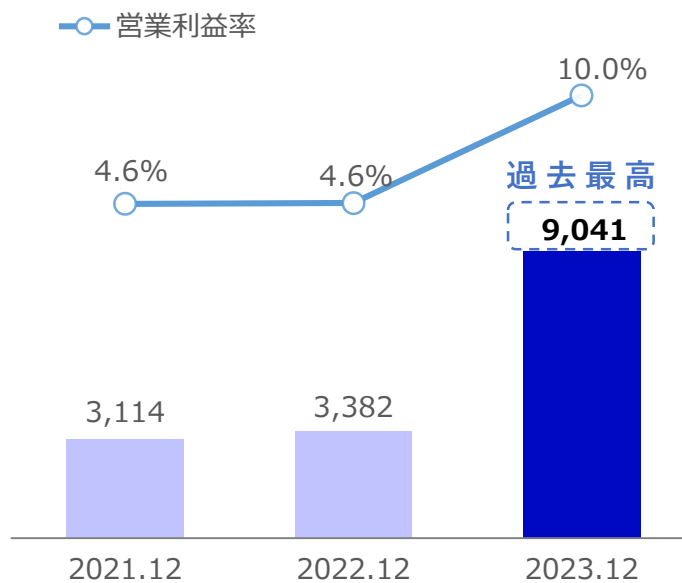
前期比**177**億円増 (24.3%増) ↗



【ご参考】前期までの過去最高値：2023年3月期第3四半期 73,061百万円

営業利益 (百万円)

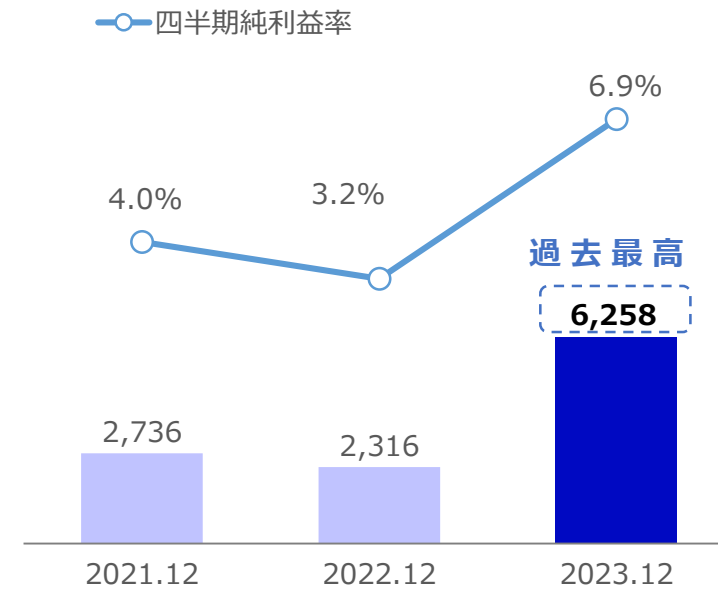
前期比**56**億円増 (167.3%増) ↗



【ご参考】前期までの過去最高値：2017年3月期第3四半期 6,390百万円

四半期純利益 (百万円)

前期比**39**億円増 (170.2%増) ↗



【ご参考】前期までの過去最高値：2017年3月期第3四半期 4,915百万円

2024年3月期第3四半期決算概要

(単位：百万円)

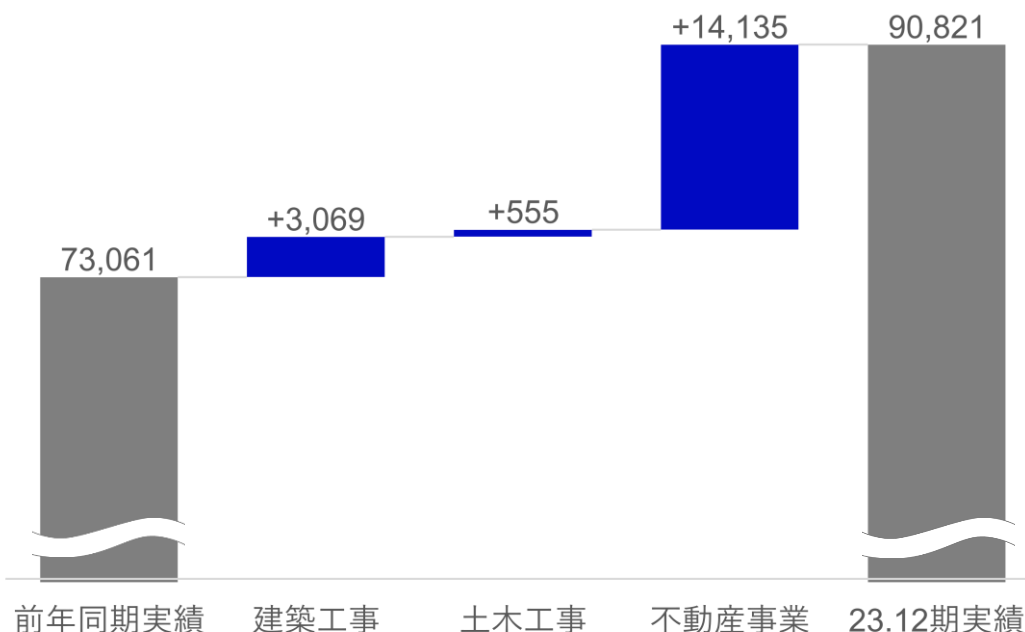
	2021.12 実績	2022.12 実績	2023.12 実績	前期比 増減額	増減率
売上高	67,946	73,061	90,821	17,759	24.3%
完成工事高	60,320	65,351	68,976	3,624	5.5%
不動産事業等売上高	7,625	7,710	21,845	14,135	183.3%
売上総利益	9,163	9,861	16,956	7,094	71.9%
(売上総利益率)	(13.5%)	(13.5%)	(18.7%)		5.2pt
完成工事総利益	6,754	7,314	7,085	▲229	▲3.1%
不動産事業等総利益	2,408	2,547	9,870	7,323	287.5%
販売費及び一般管理費	6,049	6,479	7,915	1,435	22.2%
営業利益	3,114	3,382	9,041	5,658	167.3%
(営業利益率)	(4.6%)	(4.6%)	(10.0%)		5.4pt
経常利益	3,148	3,448	9,155	5,707	165.5%
(経常利益率)	(4.6%)	(4.7%)	(10.1%)		5.4pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,736	2,316	6,258	3,941	170.2%
(四半期純利益率)	(4.0%)	(3.2%)	(6.9%)		3.7pt

売上高・営業利益増減要因（対前年同四半期実績）

- 売上高・・・前期比177億円の増収となり第3四半期として過去最高を更新
 - 建設事業：当期より連結子会社となった北和建設の業績が寄与し、前期比36億円の増収
 - 不動産事業：大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクトの1号宅地）の売却が寄与し、前期比141億円の大幅増収
- 利益・・・営業利益は前期比56億円の増益となり第3四半期として過去最高を更新
 - 建設事業：建築工事が前期に比べ採算の厳しい工事が多かった影響により、前期比2億円の減益
 - 不動産事業：利益率の高い自社開発産業用地の売却により、前期比73億円の大幅増益
 - 販管費：従業員の給与・賞与のアップなどによる人件費の増加、営業活動の活発化などによる経費の増加などにより、前期比14億円の増加

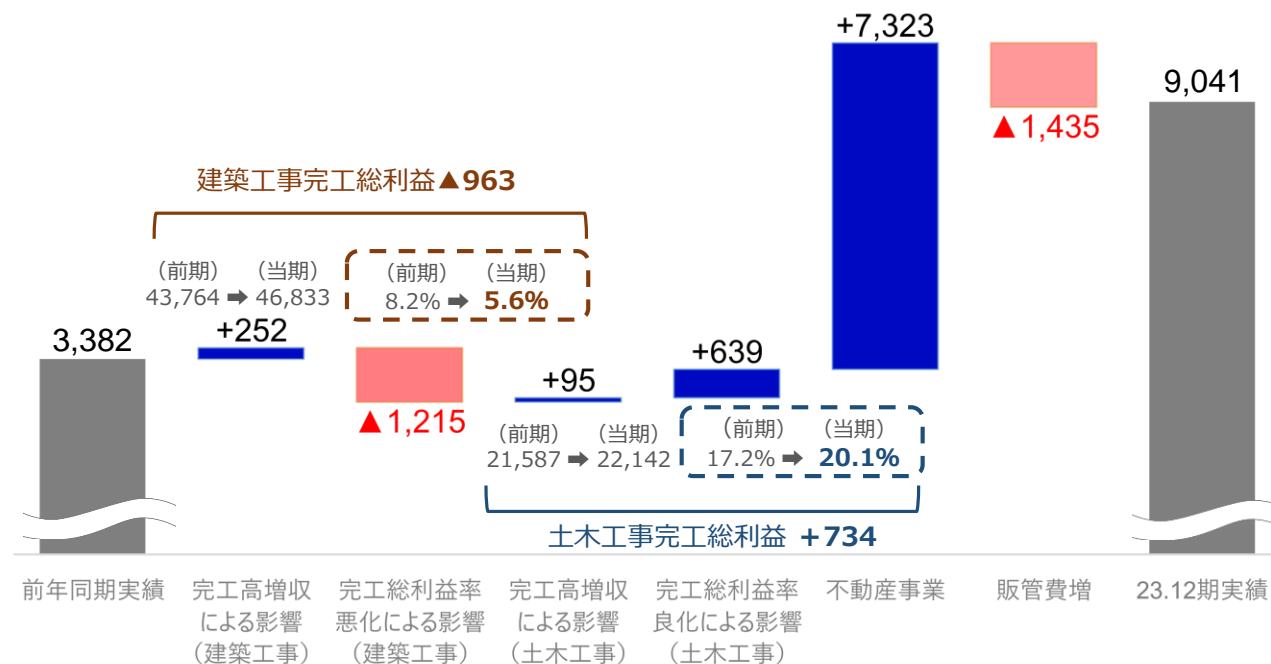
売上高（百万円）

対前期**17,759**百万円増



営業利益（百万円）

対前期**5,658**百万円増



■ 受注高

過去最大規模の大型物流施設工事を受注したことにより、前期比210億円の増加

■ 売上高

北和建設の業績の寄与もありマンション工事が増加し、前期比30億円の増収

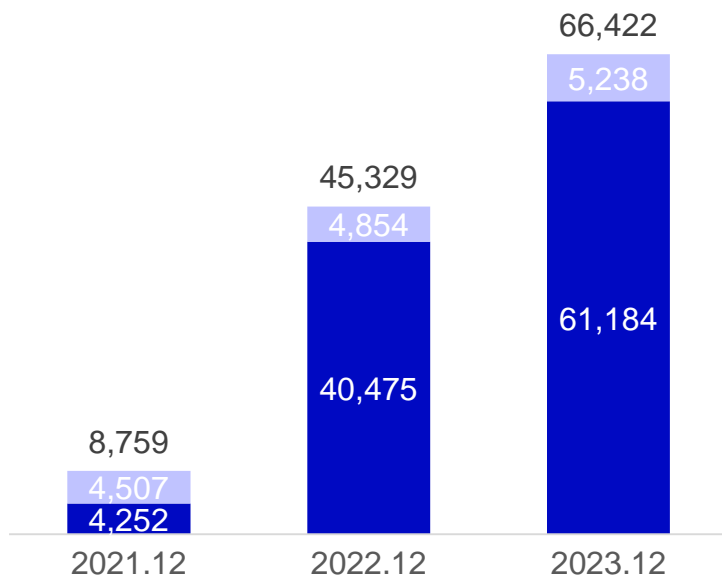
■ 売上総利益

前期に比べ採算の厳しい工事が多かった影響により、前期比9億円の減益

用途別受注高 (百万円)

前期比**210**億円増 (46.5%増) 

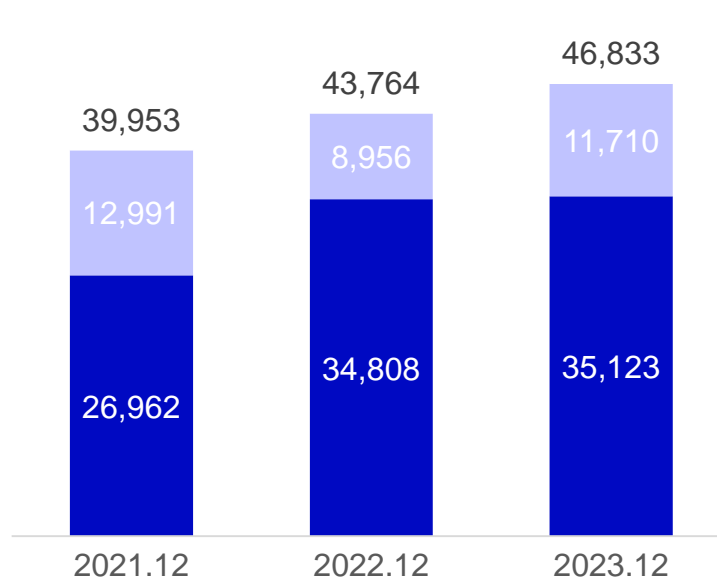
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



用途別売上高 (百万円)

前期比**30**億円増 (7.0%増) 

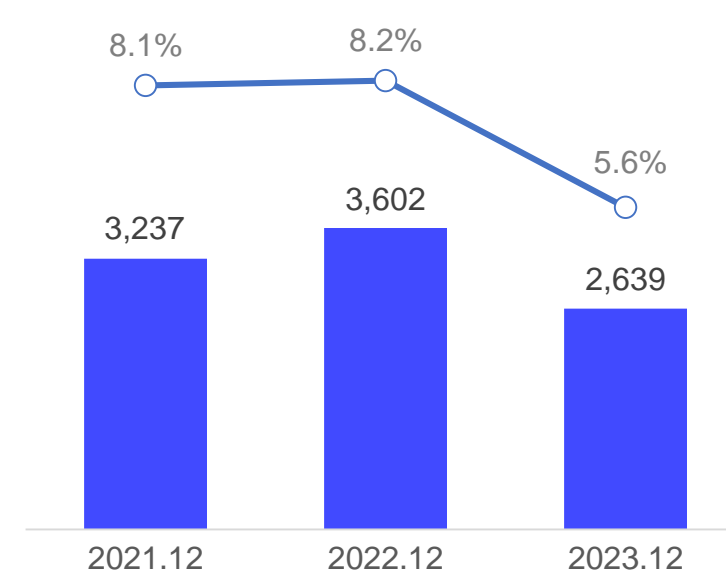
■ マンション工事 ■ 一般建築工事



売上総利益 (百万円)

前期比**9**億円減 (26.7%減) 

○ 連結売上総利益率



〈セグメント別概況〉 土木事業

■ 受注高

民間工事が増加したことにより、前期比6億円の増加

■ 売上高

民間工事の施工が順調に進捗したことにより、前期比5億円の増収

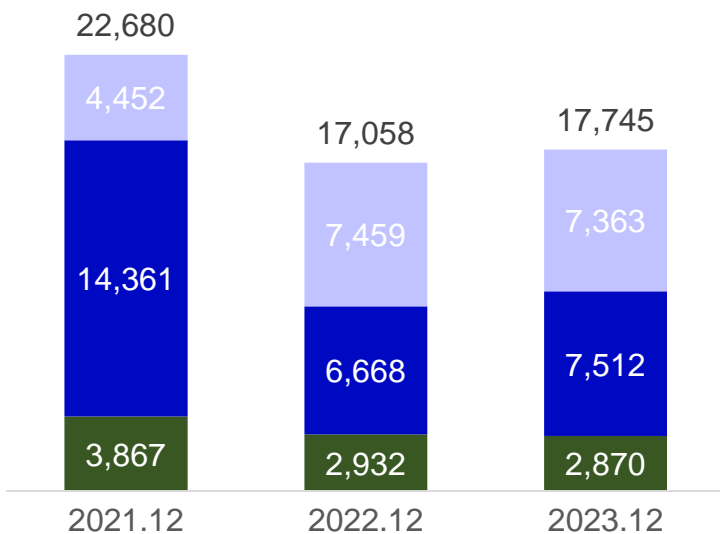
■ 売上総利益

竣工を迎えた一部の大型工事において変更増額の獲得による利益の積み増しが図れたことにより、前期比7億円の増益

用途別受注高 (百万円)

前期比6億円増 (4.0%増)

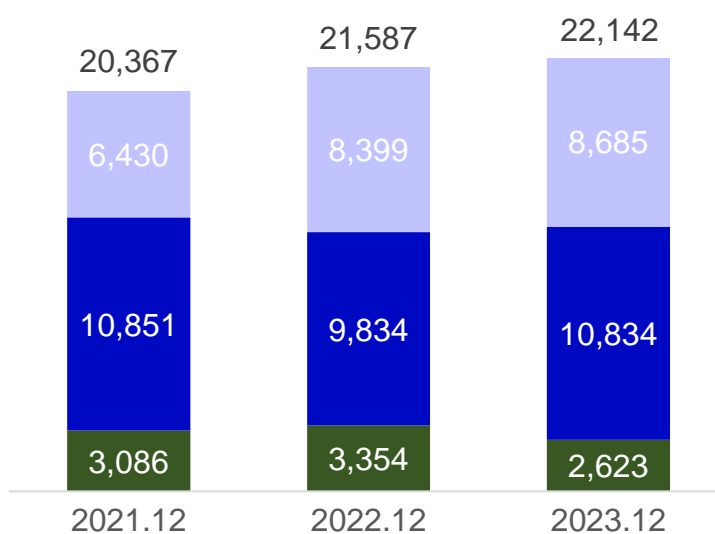
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



用途別売上高 (百万円)

前期比5億円増 (2.6%増)

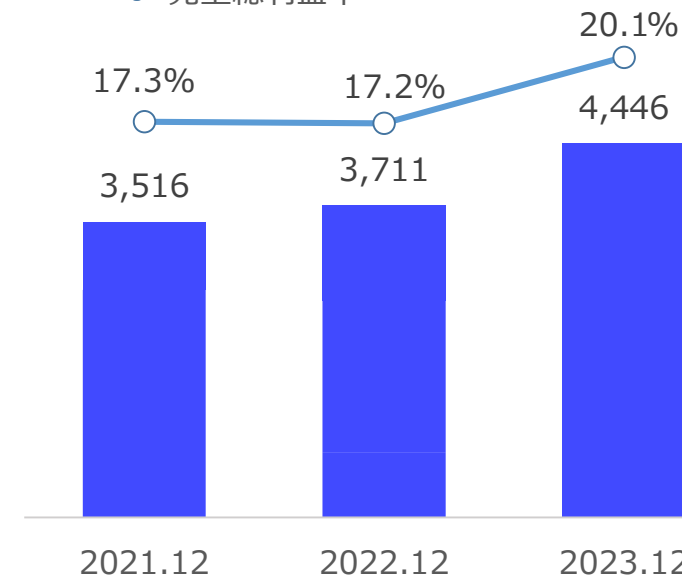
■ 官庁工事 ■ 民間工事 ■ PW工事



売上総利益 (百万円)

前期比7億円増 (19.8%増)

○ 売上総利益率



※PW工事：当社独自技術である地山補強土工法の「パンウォール工法」による工事

■ 売上高

分譲マンション事業の大幅増収に加え、大規模自社開発産業用地（大府東海開発プロジェクトの1号宅地）の売却が寄与し、前期比141億円の増収

■ 売上総利益

増収効果に加え、利益率の高い自社開発産業用地の売却により、前期比73億円の増益

■ 分譲マンション事業

前期末に引渡を開始した物件の販売が引き続き好調であったことに加え、新規物件2棟の完成引渡を迎えたことから前期比83戸の増加

売上高内訳 (百万円)

前期比**141**億円増 (**183.3%**増) 

■ 分譲マンション事業 ■ 不動産販売 ■ その他

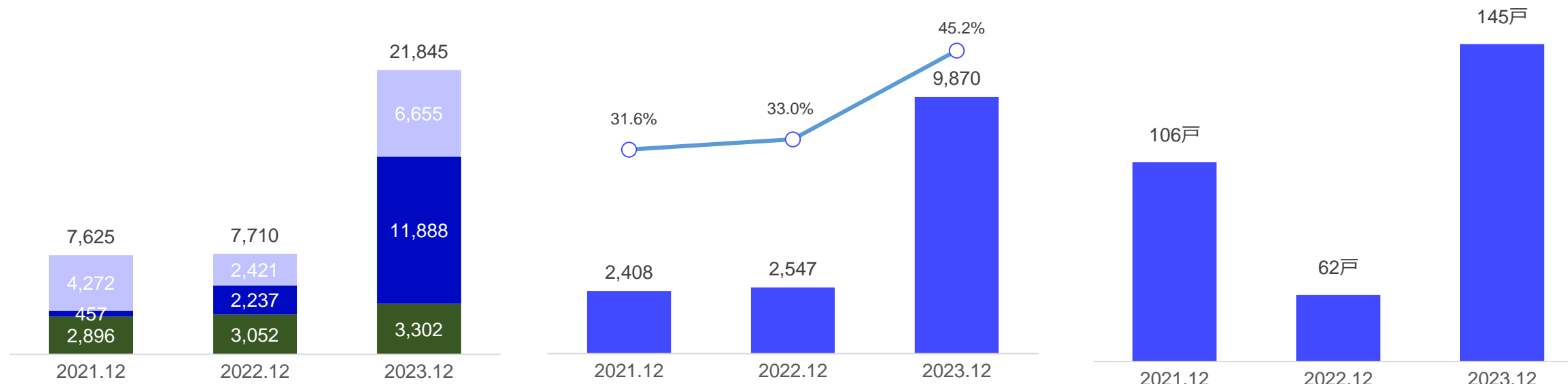
売上総利益 (百万円)

前期比**73**億円増 (**287.5%**増) 

○ 連結売上総利益率

分譲マンション販売戸数 (戸)

前期比**83**戸増 (**133.9%**増) 



- **総資産**：工事代金の回収が進み売上債権が25億円減少し、大府東海開発プロジェクト1号宅地の売却に伴い販売用不動産も21億円減少した一方で、投資その他の資産が30億円増加したことなどにより、総資産は16億円の減少
- **負債**：未成工事受入金が61億円増加した一方で、工事代金の回収及び不動産売却で獲得した資金を原資に有利子負債を145億円圧縮したことなどにより、負債は60億円の減少
- **純資産**：利益剰余金の計上などにより、純資産は44億円増加

□ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		2023.3 実績	2023.12 実績	増減
流動資産	現金預金	22,821	20,900	▲1,920
	売上債権	42,753	40,242	▲2,510
	未成工事支出金	2,074	3,492	1,418
	販売用不動産	20,239	18,083	▲2,156
	その他	4,334	4,374	40
	計	92,223	87,093	▲5,130
固定資産	有形固定資産	28,497	29,020	522
	無形固定資産	805	692	▲113
	投資その他の資産	8,460	11,512	3,052
	計	37,763	41,225	3,461

負債の部		2023.3 実績	2023.12 実績	増減
流動負債	仕入債務	18,697	16,367	▲2,329
	短期借入金	28,100	13,600	▲14,500
	未成工事受入金	4,604	10,756	6,151
	その他	5,442	9,893	4,451
	計	56,843	50,617	▲6,226
固定負債	長期借入金	3,800	3,800	0
	その他	8,912	9,046	134
	計	12,712	12,846	134
負債合計		69,556	63,463	▲6,092
純資産		60,431	64,855	4,424

資産合計	129,987	128,319	▲1,668
------	---------	---------	--------

負債・純資産合計	129,987	128,319	▲1,668
----------	---------	---------	--------

□ 主要経営指標

(単位：百万円)

	2020.3実績	2021.3実績	2022.3実績	2023.3実績	2022.12実績	2023.12実績
総資産経常利益率 (ROA)	7.3%	6.3%	5.0%	5.9%	—	—
自己資本当期純利益率 (ROE)	10.2%	6.2%	8.6%	7.6%	—	—
1株当たり当期純利益 (EPS)	118.85円	75.86円	112.18円	104.83円	—	—
自己資本比率	48.6%	42.1%	49.4%	46.5%	44.6%	50.5%
有利子負債	26,057	42,940	30,400	31,900	32,900	17,400
NET有利子負債 (※)	12,281	20,848	8,388	9,078	12,852	▲ 3,500

(※) NET有利子負債 = 有利子負債 - 現金預金

■ 受注高

過去最大規模の大型物流施設工事を受注したことなどにより、前期比217億円の増加

■ 次期繰越高

受注高が大きく増加したことにより、前期比272億円の増加

□ 受注高

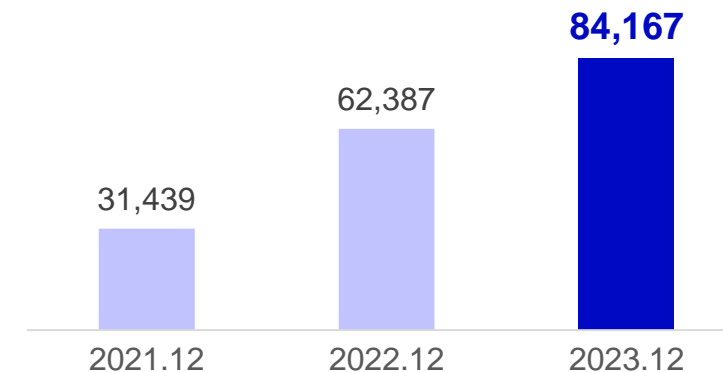
	2021.12 実績	2022.12 実績	2023.12 実績	(単位：百万円)	
				前期比 増減額	増減率
建築工事	8,759	45,329	66,422	21,092	46.5%
土木工事	22,680	17,058	17,745	686	4.0%
合計	31,439	62,387	84,167	21,779	34.9%

□ 次期繰越高

	2021.12 実績	2022.12 実績	2023.12 実績	(単位：百万円)	
				前期比 増減額	増減率
建築工事	21,275	63,629	86,218	22,588	35.5%
土木工事	27,101	23,734	28,415	4,681	19.7%
合計	48,376	87,364	114,634	27,270	31.2%

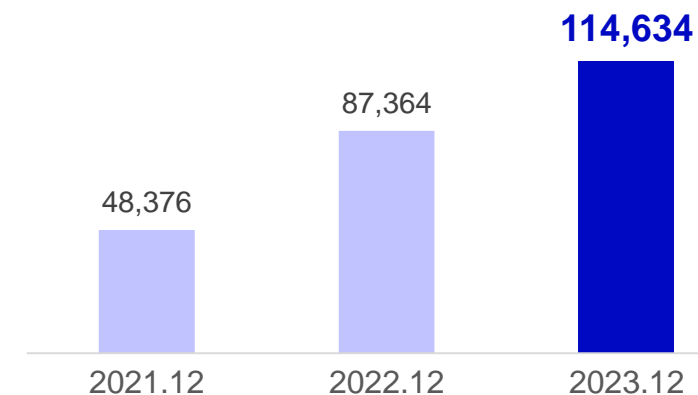
受注高 (百万円)

前期比**217**億円増 (**34.9%**増) 



次期繰越高 (百万円)

前期比**272**億円増 (**31.2%**増) 



Ⅱ

2024年3月期通期業績予想

2024年3月期の通期予想は売上高1,220億円、営業利益95億円、当期純利益63億円と売上高、各利益段階ともに過去最高値を見込む

■ 売上高

不動産事業が大幅な増収となることで、売上高全体では前期実績を上回り、過去最高となる見込み

■ 利益

大幅な増収効果により、各利益段階においても前期実績を大きく上回り、過去最高益となる見込み

(単位：百万円)

□ 2024年3月期連結予想	2023.3 実績	2024.3 通期予想	前期比（通期）	
			増減額	増減率
売上高	111,110	122,000	10,889	9.8%
完成工事高	94,265	98,700	4,434	4.7%
不動産事業等売上高	16,845	23,300	6,454	38.3%
売上総利益	16,590	19,700	3,109	18.7%
(売上総利益率)	(14.9%)	(16.1%)		1.2pt
完成工事総利益	10,822	9,400	▲ 1,422	▲ 13.1%
不動産事業等総利益	5,768	10,300	4,531	78.6%
販売費及び一般管理費	9,377	10,200	822	8.8%
営業利益	7,212	9,500	2,287	31.7%
(営業利益率)	(6.5%)	(7.8%)		1.3pt
経常利益	7,259	9,500	2,240	30.9%
(経常利益率)	(6.5%)	(7.8%)		1.3pt
親会社株主に帰属する当期純利益	4,508	6,300	1,791	39.7%
(当期純利益率)	(4.1%)	(5.2%)		1.1pt

売上高・営業利益増減要因（対2023.3期実績）

■ 売上高

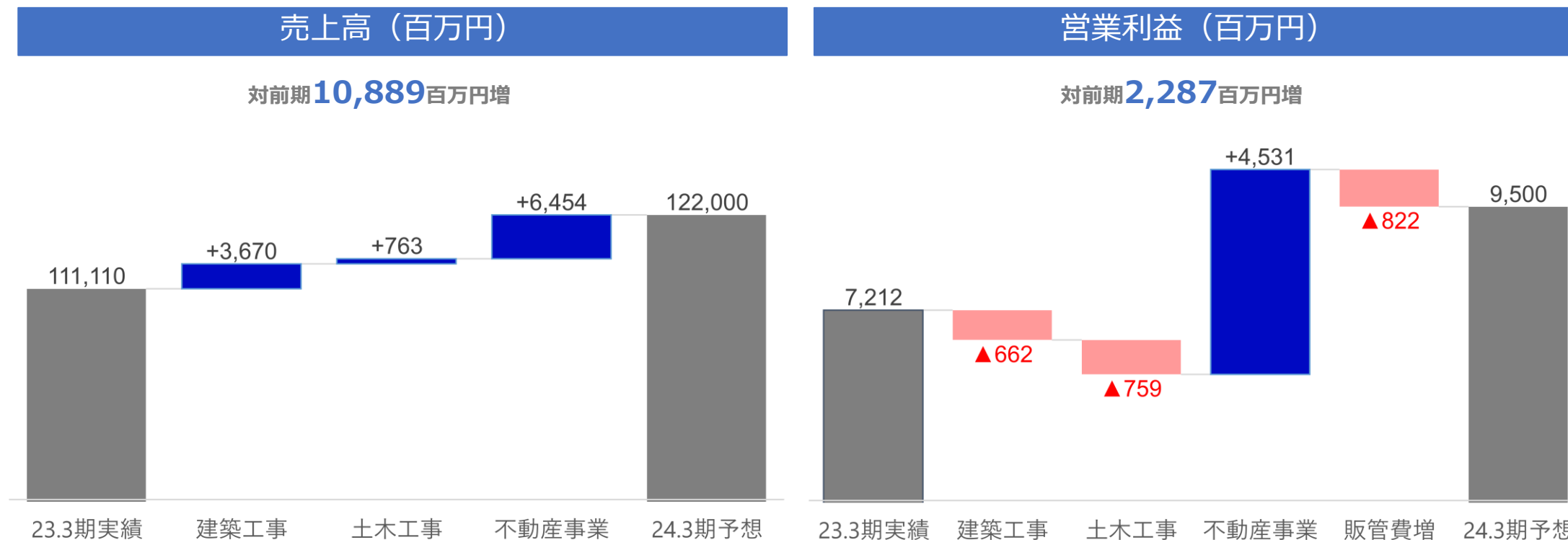
建築事業：子会社化した北和建設株式会社の売上高も加わることで、前期実績を上回る見込み

不動産事業：過去最大規模の自社開発産業用地の売却が完了したことで、前期実績を大きく上回る見込み

■ 利益

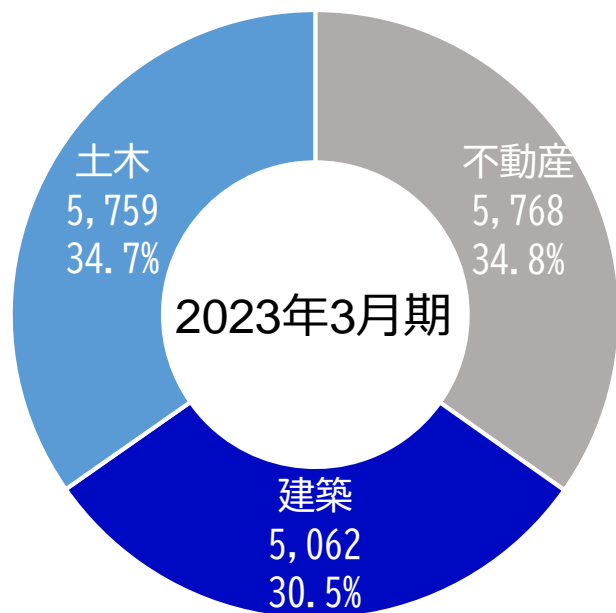
建築事業：採算の厳しい一部工事の影響により、前期実績を下回る見込み

不動産事業：自社開発産業用地の売却に伴い、前期実績を大きく上回る見込み

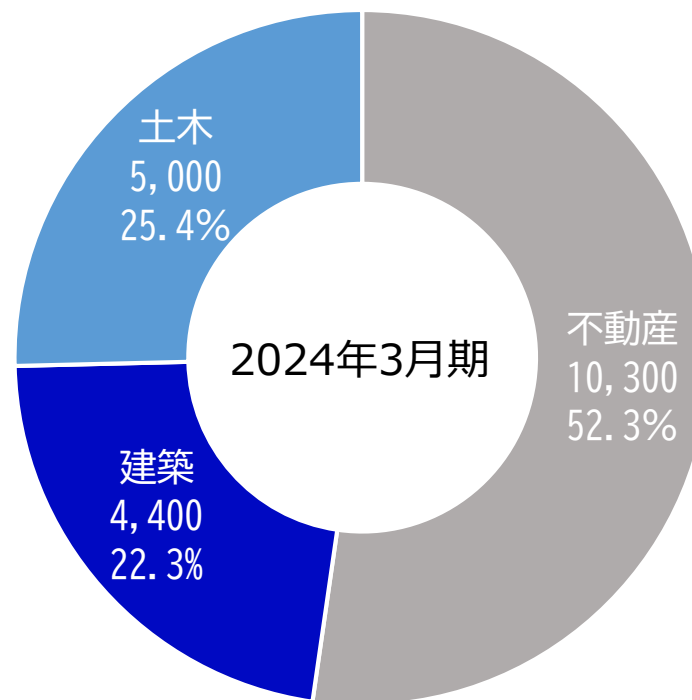


- 2024年3月期の売上総利益に占める各部門の割合は当社が手掛ける過去最大規模の自社開発産業用地の売却の寄与もあり、一時的に不動産部門が大きく上昇

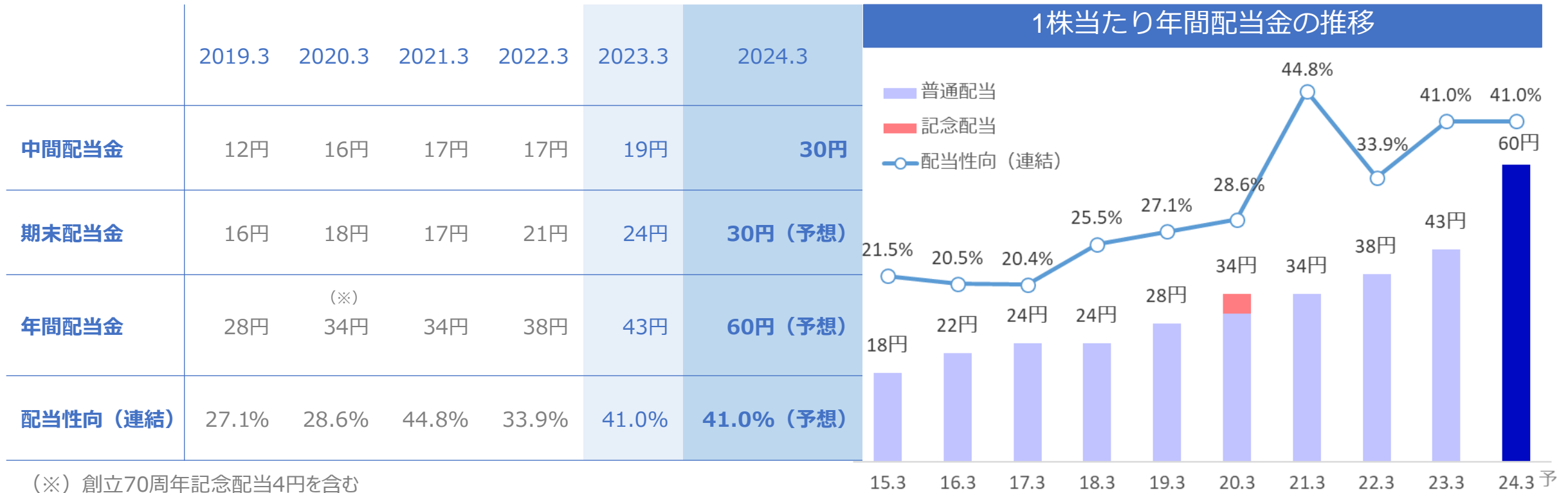
売上総利益166億円に占める割合



売上総利益197億円に占める割合



- 2024年3月期の配当は、実施済みの中間配当金30円に加え、期末配当金も公表どおり30円を予定しており年間の配当金は60円とする予定
- 3期連続で増配（11期連続で減配なし）予定
- 配当性向は、中期経営計画の配当方針「30%以上」を上回る水準で推移



(※) 創立70周年記念配当4円を含む

Ⅲ

参考情報

1.連結業績の推移（5年分）並びに計画

(単位：百万円)

	2019.12	2020.12	2021.12	2022.12	2023.12	2024.3計画
売上高	64,757	71,330	67,946	73,061	90,821	122,000
(対前期比増減率)	(▲4.2%)	(10.2%)	(▲4.7%)	(7.5%)	(24.3%)	(9.8%)
営業利益	5,353	5,138	3,114	3,382	9,041	9,500
(対前期比増減率)	(10.3%)	(▲4.0%)	(▲39.4%)	(8.6%)	(167.3%)	(31.7%)
経常利益	5,444	5,231	3,148	3,448	9,155	9,500
(対前期比増減率)	(10.7%)	(▲3.9%)	(▲39.8%)	(9.5%)	(165.5%)	(30.9%)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	3,641	3,515	2,736	2,316	6,258	6,300
(対前期比増減率)	(10.7%)	(▲3.5%)	(▲22.2%)	(▲15.3%)	(170.2%)	(39.7%)

□ 第3四半期として売上高、各利益段階とも過去最高値を更新

□ <ご参考>

連結初年度

1991年3月期

前期までの過去最高値

◎ 売上高

2023年3月期第3四半期

73,061百万円

◎ 営業利益

2017年3月期第3四半期

6,390百万円

◎ 経常利益

2017年3月期第3四半期

6,432百万円

◎ 親会社株主に帰属する
四半期純利益

2017年3月期第3四半期

4,915百万円

2.連結子会社の状況（2023年12月31日現在）

名称	住所	資本金 (百万円)	決算期	事業内容	四半期の 業績 売上高 (百万円)
矢作地所(株)	名古屋市東区	800	3月	分譲マンション事業、不動産開発事業、不動産賃貸事業、不動産流通事業	8,741
矢作ビル&ライフ(株)	名古屋市東区	400	3月	マンション管理事業、不動産管理事業、建築事業、サイン事業、損害保険代理業、ウッドピタ（木造戸建住宅耐震補強工法）事業、分譲マンションカスタマーサービス事業	3,209
ヤハギ緑化(株)	名古屋市東区	100	3月	緑化事業、ゴルフ場コース管理事業	2,640
(株)テクノサポート	名古屋市東区	50	3月	パンウォール（補強土壁工法）事業、ピタコラム（外付耐震補強工法）事業、建設工事、技術開発、試験体製作	947
ヤハギ道路(株)	愛知県豊田市	300	3月	舗装事業、土木事業、アスファルト合材製造販売事業、リサイクル事業	4,603
南信高森開発(株)	長野県下伊那郡高森町	50	3月	ゴルフ場経営（高森カントリークラブ）	276
北和建設(株)	京都市下京区	85	3月	建築事業	4,299

（注）全て矢作建設工業(株)の100%子会社である（南信高森開発(株)については、間接所有分が69%である）。

3.受注高、売上高、次期繰越高（連結）

(単位：百万円)

区分			受注高				売上高				次期繰越高			
			2022.12	2023.12	前期比		2022.12	2023.12	前期比		2022.12	2023.12	前期比	
			実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率	実績	実績	増減額	増減率
工事	建築	官庁	-	0	0	-	-	0	0	-	-	28	28	-
		民間	45,329	66,421	21,092	46.5%	43,764	46,833	3,069	7.0%	63,629	86,189	22,560	35.5%
	計		45,329	66,422	21,092	46.5%	43,764	46,833	3,069	7.0%	63,629	86,218	22,588	35.5%
	土木	官庁	7,459	7,363	▲ 96	▲1.3%	8,399	8,693	293	3.5%	9,000	11,534	2,534	28.2%
		民間	9,599	10,382	782	8.2%	13,187	13,448	261	2.0%	14,734	16,880	2,146	14.6%
	計		17,058	17,745	686	4.0%	21,587	22,142	555	2.6%	23,734	28,415	4,681	19.7%
	合計	官庁	7,459	7,363	▲ 95	▲1.3%	8,399	8,693	294	3.5%	9,000	11,563	2,563	28.5%
		民間	54,928	76,804	21,875	39.8%	56,951	60,282	3,330	5.8%	78,363	103,070	24,706	31.5%
		合計		62,387	84,167	21,779	34.9%	65,351	68,976	3,624	5.5%	87,364	114,634	27,270
	不動産事業等						7,710	21,845	14,135	183.3%				
合計						73,061	90,821	17,759	24.3%					

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。本資料には監査を受けていない概算値を含むため、数値が変更になる可能性があります。